

緑の風

2014年7月 vol.4 (通算55号)

■発行: 緑が浜小学校P.G.T.

■編集: 広報ボランティア

■所在地: 茅ヶ崎市緑が浜1-1

給食の謎を追え!!

学校の管理栄養士
両角亜希子さんに聞きました!

vol.4

普段、おうちであまり食べられない食材でも給食マジックで食べられちゃったりして、子ども達にちょっぴり自信をつけてくれることもある給食。忙しい親として、時々手を放してしまう夕飯でも「ま、お昼に給食、食べたもんね」と罪悪感をすこし薄めてくれる給食(あ、これは私だけ?汗)。そもそも献立は誰が立ててるの?どんな場所で、誰がどんな風に調理しているの?給食の枕詞として思い浮かぶのは、栄養バランスが良い、美味しい、安心、安全……ん?でも、これって当たり前?

学校給食の献立はどなたが考えているのですか?

広報 茅ヶ崎市では統一メニューなので、市の学校給食に携わっている栄養士が順番に担当して、1ヶ月単位で献立作成をしています。作成した献立は献立作成部会というところで検討され、決定されます。

では、市内の小学校では、皆が同じ献立の給食を食べているのですか?

はい。ただ、一部変更は認められていますので、いつもとまるっきり同じというわけではありません。行事などの関係で若干違う献立になっていることもありますよ。

そうだったんですね。両角さんも献立を立てるのですか?

そうなんです!私、今年度は2月が担当月なんです。

プレッシャー、ありますか?例えば、献立表を見ると毎月おNewメニューが載ってますけど?

ありますよお!プレッシャー!それに新メニューの開発は結構時間が掛かるんです!まず自宅で試作してみて、次に学校で10食くらい作ってみます。家庭で作る量と大量調理の給食では味付けの分量、加減が違うので、そこを何度かの試作で確認していきます。それから学校の給食で出してみ、手応えが良

→ければ市の献立として組み込んで、献立作成部会で承認されて市の献立になる、という流れで。

ん?ということは、来年2月の両角さんの立てた献立の新メニューが、通って、その前の緑小給食に登場していた、ということもあるんですね。これは給食便りをとっておいて、後からチェックしてみても楽しいかもしれませんね。

えー(笑)

給食は何人体制で作ってるんですか?

職員3人、パートさん3人と私、の7人です。

どうやって分担してるんですか?

作業工程表があって、動線確認をしています。担当制になっていて、米炊き担当者はずっとお米を炊いていますし、揚げパン担当者はずっとパンを揚げています。

うわー色分けされて綺麗ですね!
これなら、誰が何を担当して、いつ何をするのがバツと見てわかりますね!どなたが作成を?

当番の人です。その作業工程表に、作業動線図を私が書き入れています。



つづく→

給食の謎を追え!!

学校の管理栄養士 同角さんに聞きました! の、つづき

- Q: ところで、給食作りで工夫されていることは何ですか?
A: カルシウム、鉄分、食物繊維などの不足しがちな栄養素を補うように工夫しています。例えばご飯に麦を混ぜたり、ドライカレーにレバーそぼろをいれたり、ですね。
- Q: アレルギー対応はどうされています?
A: なるべく同じものを食べさせてあげたいので、例えばアレルギーを引き起こす食材を使っていない調味料を選んで、皆、同じものを使うとか、どうしてもその食材の代わりがなければ、同じ釜で調理して、仕上げ段階に取り分けたりしています。
- Q: 残食はどうですか? 全体的に少ないほうだと聞きましたが。
A: うちの学校の子たちは本当によく食べてくれるので、少ないですね。全くゼロの日はありませんが、1年生から6年生までの全体で、残食が1L以下ことがあります。
- Q: 1L以下? スゴイですね!! 給食場の皆さんが暑い日も寒い日も、美味しい給食を作ってくださいありがとうございます。今日はいろいろ教えてくださってありがとうございます! これからも、子どもたちに美味しい給食を、よろしくお願いいたします。
A: はい! 頑張ります!

同角さん
ありがとうございました!

給食場の一日

これが現場だ!!

- AM7:30 野菜などが検収室に到着
- AM8:30 肉魚系のナマモノが到着
- AM8:00 調理員さん出勤、着替え
- AM8:15 食器、調理器具、調理台などの洗浄消毒
- AM8:30 みんなでラジオ体操→作業工程表・作業動線図で作業の流れを確認
- AM8:40 「給食場に降りる」仕事を始めることを調理員さんはこう言います。
★10:30以降に、給食が出来上がるように調理する★
出来あがり2時間経過後、菌繁殖率が上がります。安全のために【調理後2時間以内】に給食を提供しています。
- PM12:00 校長先生、または教頭先生が検食
- PM12:15 配膳室オープン
- PM12:30 いただきます♪
- PM13:00~13:10 下膳
- PM13:20~16:30 食器などを洗浄し保管庫へ片づけ、給食場の掃除



校長先生 検食中...
大切な子どもたちの安全のために体張っています!

イマドキ床はドライシステム!
お気づきでした? 床を水でジャージャー流したりしないのです。蓋を壊やささないためにカラッと清潔! もちろん、調理員さんの足元も白い長靴じゃなく、白いお洒落な? コックシューズです。

ここでラジオ体操!

1 検収室
食材の受け取りをします。

エプロンは布製、信号カラー
作業によって三色に色分けされています。下処理室でのお仕事、上処理室で生肉や生魚を扱う時→赤、上処理室で調理→緑、洗浄室で洗浄→黄

三槽洗い
食材も食器も、洗う時は三槽洗い(三段階洗浄)でしっかりキレイに!

2 下処理室
食材をキレイに洗う。ヘタや芽を取る。皮をむく。お魚やお肉は、さばかれた状態で納品されます。キレイになった食材は下処理室から直接、上処理室へ。

3 上処理室
給食の調理をします。

4 洗浄室
食器、調理器具などをキレイに。大きなものも小さなものもキレイに洗浄して保管庫へ。

5 配膳室
子ども達に安全に渡すまで各階の配膳室で調理員さんが目を光らせています。

われら! みどりっ子見守り隊

P.G.T.の『G』のみなさまが中心となって活躍してくださっている「みどりっ子見守り隊」。月に2回の月曜日、子どもたちの登校時の安全を、優しく見守ってくれています。(秋からは毎週月曜日になる予定)。そんな見守り隊のみなさまをここにどーんとご紹介! お顔とお名前を覚えて、元気にあいさつしましょう!

チームA

- 荒井義剛さん
- 荒井朱実さん
- 藤沼よし子さん
- 油谷勝美さん
- 岩瀬 弘さん
- 油谷隆雄さん
- 吉野正隆さん
- 堀口泰之さん

チームB

- 弓削俊彦さん
- 諸野義之さん
- 永田 賢さん
- 堀口浩美さん
- 堀古利彦さん
- 宮本 潔さん
- 関塚定三さん
- 南波博子さん

世の中の風雲に巻き込まれながら子育てしてきた父母が、第一線を退いてお父母になり、老後の身を構えたる前に何か地域でささやかながらお手伝いできることほかないかと模索していたら、そこに祖父母ボランティア「みどりっ子見守り隊」があった。

これから将来の社会や地域を支えていく身近な「国の主」子どもたちを、無償の愛をこめて見守っている。勇ましく隊員はみんな同じような思いで、この隊に励まされたのだ。

子どもたちを「訓育感化」しようなどという大それた考えは論議には毛頭ないが、「子どもは何気ない親(大人)の姿の中に、人としての生き方を学んでいる」とことは確かだ。

だから能率といえども、まの前のほほ笑みとしていられない。見守り隊員は多札と腕章をして、校長先生、子ども安全ボランティアのお母さんたちと一緒に子どもたちが校門に入るまで事故のないように三笑顔と挨拶でしっかりと見守っている。いつも下を向いて通っていた子どもも朝の挨拶で買われて、その子の方から「おはようございます」と笑顔で挨拶して帰るようになった。

「二本やられたー! いやー! 本が当たったぞー!」あの子、大きな声と笑顔で挨拶するようになったぞー! 能率の悪いけれど、我々も子どもたちから「元気と笑顔」をいっぱいもらっている。今年度、参加した人数も増えたので、秋からは毎週月曜日(今まで月2回)、2班に分かれて見守ることにした。

そんなこの祖父母ボランティア「みどりっ子見守り隊」を市民権「得てきたかな」。

「みどりっ子」はみんな、親(P)・祖父母(G)・教師(T)、そして地域の方々に囲まれ愛されて、実に幸せな子どもたちだ。「のびのび生きているみどりっ子」。

「未来が手をのびているみどりっ子」。

みどりっ子見守り隊幹事 堀古 利彦



1年生

学年便りタイトル
「ひだまり」



タイトルへの思い (タイトルの意味)

学校が子どもたち一人ひとりの「ひだまり」のように温かく安心して過ごせる場所でありたいです。

現在の子どもたちの様子や、目標に向け取り組んでいる事

緑小の一員として学校生活を大いに楽しんでいます。人として大事なことは何かを一年生なりに一つ一つ「考えて行動する」を学んでいきます。失敗することもあります。温かく見守ってください。



4年生

学年便りタイトル
「若草」

タイトルへの思い (タイトルの意味)

若草のように暖かな日差しを受けてぐんぐん伸びるような子に、という願いを込めています。

現在の子どもたちの様子や、目標に向け取り組んでいる事

好奇心旺盛で遠足や社会見学では体験やお話に夢中になりました。

音楽会の発表や緑小祭に向けて取り組んでいます。自分たちの力で協力し表現していくことが大好きで、一生懸命に取り組んでいます。

2年生

学年便りタイトル
「ながよし」

タイトルへの思い (タイトルの意味)

タイトルへの思い (タイトルの意味)

とにかくいっぱいふれ合って遊ぼうよ。失敗したっていいんだよ。でも最後には笑顔でね! なかよし。

現在の子どもたちの様子や、目標に向け取り組んでいる事

なんでもやってみよう! かならず仲間がいる! よーし、がんばるぞ! しっかり見ているよ! 2年生は雨上がりの若葉のようにぐんぐん伸びて輝いています。学校のルールやマナーもしっかり覚え、これから冒険への出発です! 成長を見守っていきたいです。



思いよとどけ! 笑顔でいよばあ! 取材に行ったある日の

休み時間、学校はたくさんの子どもたちと先生方の笑顔や笑い声に包まれていました。この温かい雰囲気の基礎を作り上げている先生方は、子どもたちの成長に何を願っているのが、学年便りのタイトルにその答えが隠されています。

みなさんご存知でしたか? 学年便りには学年ごとに名前があるんです。みなさんそれぞれに名前があるように、そして、その名前にお父さん、お母さん方の思いがこめられているように、学年便りにも先生方の思いが込められています。その熱い思いとともに、

現在の子どもたちの様子や目標に向け取り組んでいることを伺ってきました。



タイトルへの思い (タイトルの意味)

新たなクラスや授業の中で、無限大の可能性への確実な第一歩を踏み出してほしいです。

現在の子どもたちの様子や、目標に向け取り組んでいる事

一人ひとりが個性を輝かせながら元気に一生懸命に学校生活を送っています。アスレチックの遠足やミニ運動会を終え、授業を中心としながら、次の行事(緑小祭)や活動に向けて、学年一丸となってがんばっています。



6年生

学年便りタイトル
「シリウス」

タイトルへの思い (タイトルの意味)

地上から見える中で、一番光輝いている恒星シリウス。最高学年として緑小の輝く星となれ!

現在の子どもたちの様子や、目標に向け取り組んでいる事

緑小祭に向けて、念願のお化け屋敷を一致団結してがんばっています。また、お祭り全体の計画や進行に、一人ひとりがいろいろな形で係わり、取り組んでいます。

9月には、待ちに待った修学旅行があります。



5年生

学年便りタイトル
「Let's Began」

タイトルへの思い (タイトルの意味)

タイトルへの思い (タイトルの意味)

何事も自主的に考えて行動しなければならぬ高学年になったときに、まず自分で何かを始めようという思いから。

現在の子どもたちの様子や、目標に向け取り組んでいる事

5月の足柄キャンプで、早くから自分たちで計画をして準備をして、一泊二日いろいろな体験をして帰ってきました。皆が少し成長して高学年になれたように思います。

今は緑小祭に向けて、また自分たちで計画しているところです。

【緑小祭は7月4日に行われました。また、各学年便りは職員室前に掲示されておりますので、ぜひご覧ください。】



ようこそ、緑小へ!

5月15日「1年生を迎える会」

どうぞ! ありがとう!

「小さな学校ですが、大きな家族として頑張りましょう」校長先生からの温かい言葉から始まったこの日、5・6年生の仲間作り委員会が中心となって、1年生を楽しませるための工夫いっぱいの会が開かれました。

例えばジャンケン列車。特別ルールとして、

- ① 同じ学年とはしない
- ② 自己紹介してからジャンケンをする
- ③ あいこの場合は1年生の勝ちとする

という粋な計らい。終わった後、1年生から「楽しかった!」「もっとやりたい!」の声がたくさん上がっていました。



各学年が協力して作り、2年生が首に掛けてあげたメダル



実際に出た問題です。保護者の皆さんも考えてみてください。答えはお子さんに聞いてくださいね。

OXクイズ

- 第1問 学校の空き部屋の数、全部で3部屋である。
- 第2問 1年2組の担任は高橋……先生である。
- 第3問 鉄棒の一番高い所は青色である。

パパボラはつながり合えるきっかけ

緑小初の男性P.G.T.会長となった刈間昌仁会長(なんと15人のお子さんのパパ!!)に、パパボランティアを立ち上げた理由や今後についてお聞きしました。



刈間会長



雑草がかなり伸びてるぞー

5月14日、花壇ボラと合同で早速パパボラが始動しましたね。はい。登録していないお父さんや祖父母の方も多数参加してくださり、お父さんだけでも20名以上の方が一緒に草むしりをしてくれました。

おお! すべりだしは上々ですね。なぜ今、パパボラを立ち上げようと思ったんですか? 実は、お父さんにも参加してもらえ空気作りをしたい! という校長先生や前会長などの思いがあったんです。だから、会長を引き受ける時点でそれが使命かなと。あ、でも使命感はあっても義務感はなかったの、一人でも二人でも集まったところで出来ればいいかなと思ってました。

その心意気に応えたい、っていうお父さんもたくさんいると思いますよ。しかも、気張ってないところがまた素敵です。

ありがとうございます。お父さん同士も、〇〇ちゃんのパパっていう呼び名だけじゃなくて、〇〇さんと呼び合えるつながりが持てたらいいなと思うんです。そのきっかけを作りたい。

それは大事ですね。お母さん同士はすでにその努力をします(笑)。パパボラ、次回の予定はありますか? 夏祭りの力仕事以外は未定です。やる以上は色々な行事に参加してもらえる機会を作りたいと思ってますが、折々参加できる時に参加するという形で、ゆる〜くやっていきたいです(笑)。



合言葉は「大丈夫!」



天下の中、ありがとうございます

6年生 さいさ! 鎌倉へ!

5月29日 鎌倉探検

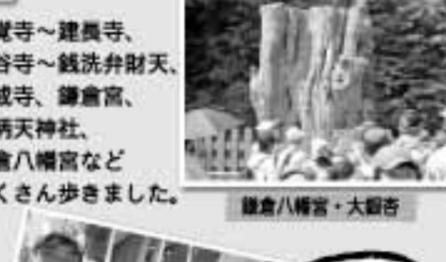
AMB:20 辻堂駅集合。各クラス6班→合計12班に分かれて、いざ鎌倉へ! 紫陽花にはまだ早い時期でしたが新緑が子どもたちを迎えてくれました。この日のためにたくさんのお寺や神社の情報を調べました。行くお寺や神社のこと、お金はいくら持っていけばいい? どの道で行く? などなど……。なんとか予定通りに進んだグループ、迷子になったグループ、色々ありましたがPM3:00頃みんな無事に帰ってきてくれて、先生もほっと胸を撫で下ろしたようです。

江ノ島でいってきまーす!



「2人がくじ」って読んでね。

「見学工程表」かなり細かい!



お寺や神社って落ち着くね...

源氏山・近代美術館でお弁当タイム!

今回のおみやげランキング! 位? 小町通い、いも吉館のソフトクリーム。



このまま消えないでほしいな〜

「まだ帰りたくないー!」5年生キャンプ 5月20日~21日 足柄

「キャンプで楽しかったこと教えて」と聞くと「キャンプファイヤー!」「火の神の目からビーム出た!」「カレー作り!」「レクタイム!」と目をキラキラさせながら答えてくれた5年生のみんな。数々のエピソードの中から印象に残ったものをご紹介します。

エピソード1 ジン♪ジン♪ジンギスカン♪

学年でのスタンツがジンギスカンという曲(昔懐かしの大ヒット曲!)のダンスに決まり、実行委員が3階の空き教室で練習していると、それを見た6年生が「ここはこうだよ」と手とり足とり教えてくれたそうです。教える子も教わる子も、自然にそんなことができるなんて素敵な光景ですね。ウッ!ハッ!



火の神と火の子たちが点火

エピソード2 ひい〜(TOT)

一番楽しかったのは?と聞くと、かなりの確率で「ナイトハイク!」という答えが返ってきました。夜の自然を満喫しに暗い道をグループでひと回り。風に揺れる木々の音にドキドキ、ポイントにいる先生の姿や声にビクッ、怖くて泣く子もいたそうです。あれ????? 怖いと楽しいは表裏一体!?

ワンポイントアドバイス

☆今年度は5月に実施されたこともあり、早くにクラスが団結して一つにまとまったのは良かったのですが、調理実習の期間が短かく、カレー作りの時に危なっかしい手つきの子がチラホラいました。みんな、おうちの方と一緒に台所に立ってお手伝いをしておこうね。
☆山歩きは予想よりキツイかも……。へばってしまう子も多かったため、体力をつけておきましょう。



先生!質問です!

新年度もスタートし、年間行事予定表を見て「あれ!? 運動会、秋になったんだ」と思った方も多いはず。そこで、神本校長先生に率直な気持ちを聞いてみました。



神本 直子
校長先生

**運動会が秋開催になったのはなぜですか?
また、どのように決めているのか教えてください。**

「子どもとじっくり向き合いたい」

今年度、本校では年間の行事を一部入れ替えました。運動会の秋開催もその一つです。昨年度一年間、行事検討委員会を設けて、検討を重ねました。現状市内の多くの学校は運動会を5月末から6月初めに実施しています。しかし、新年度がスタートしてまもないこの時期に運動会準備を慌ただしく行うことの課題も指摘されていました。梅雨入りの時期によっては、天候も懸念されます。何よりも新年度のスタートは、じっくり子どもたちと向き合い、学級づくりに専念したいことが大きな理由です。とくに入学したばかりの1年生には、緩やかに集団行動を身につけさせたいと考えます。また体力的にも夏を超えるとぐっと遅く成長するので、その姿を皆さんに見ていただけるとかと思えます。秋開催の学校の運動会も参観して、変更を決定いたしました。

今後も反省をふまえ、皆さまのご意見もいただきながら、爽りの多い、緑らしい行事を創っていきたくと思っています。

さらに大きく

NEW

編集後記
にかえて

今年は咲きます!チーム広報

H26年度第1号(vol.4)を無事お届けできて、ホッとしているチーム広報です。今号はいかがでしたか? へーそうだったんだあ、おもしろいなあ、と、ほんの少しでも思っていただけで、大切な子どもたちが通っている、この緑が浜小学校のことを保護者の皆様や地域の方にもっと身近に感じていただけたら……嬉しいです! 昨年度は3名でコンパクトに活動していた広報ボランティア。



つぼみからの~

実は、チーム広報6名のうち4名は6年生の保護者です。来年度のことを考えますと……フレッシュな(あ、お子様が、ですよ。あくまでお子様っ!)保護者の方にも、ゆるゆると楽しみつつ、ゆったりと『緑の風』(←広報誌)を育てていただきたいなあ、との祈りもありまして。そのための、チーム広報の写真です。

べ、別に皆して、フツフツで爆笑しながら撮影したわけじゃ、ないですからねっ(?)

ともかく、チーム広報は、良い空気感をまとめて楽しんで『緑の風』をつくっています。

やってみないけど、できるかなあ、と不安に感じている方、なんだかできそうな気がする~と思わせてくれる仲間がここにいるかもしれないよ? **ということで、次号もお楽しみに!**

**今年度は! なぁんとっ!
新たに3名の仲間をお迎えし、6名で始動!**

企画会議(←ブレインストーミング、と頭の中でルビを搔ってくださいね(笑))という名の雑談も、6名いるとパワーUP! 話題はあちこちに広がり、大笑いのうちにあれこれとアイデアが出て来て、今号の企画が進みました。今年度、3号は発行する!を目標に頑張りますので、お楽しみに!(勢い余って増刊もありかもしれません?いや?ないかも?) お互いの、得手不得手と隙間時間を持ちよって、出来ることを出来る人がやる。時間に追われてオーバーフローしそうな時には遠慮しないで「助けて」と声を上げることができる。助けてくれる仲間がいる。だから、安心して頑張ることができる。2人より、3人より、6人!今年度のチーム広報は咲きます!写真のように(笑) イメージは(季節外れの)タンポポ。花が終わったら綿毛のタネを遠くに飛ばし、花を、仲間を増やします。



大輪っ!(笑)